

施策指針5 創造的にいきいきと働くことのできるまちづくり

清須市は、食品や電機器具などの製造業の拠点として発展してきました。経済のグローバル化に伴いこれらの企業が工場を移転するなど、本市にとって厳しい要素もありますが、製造業には引き続き市の経済を牽引する役割が期待されています。商業については名古屋大都市圏に位置するという恵まれた条件を活かした商業施設が立地するなど、新たな展開が期待されています。また、清須市では都市近郊型農業が行われており、安全安心な食の提供や環境と調和した魅力ある農業の展開が期待されています。さらに、美濃街道や清洲城などの歴史資源を活かした観光の振興により、清須市への来訪者の増加が期待されます。そして、これらの活動により清須市内に安定した就労の場が確保され、若年層から高齢者までの就労機会の提供に重要な役割を果たすものと期待されます。

このような問題意識のもとで、清須市の経済的な活性化を目指して、下記の施策を推進し、これを通じて「創造的にいきいきと働くことのできるまちづくり」を推進します。

○ 施策指針5に基づく主要施策

- 1 商業・工業の振興
- 2 都市近郊農業の振興
- 3 観光の振興

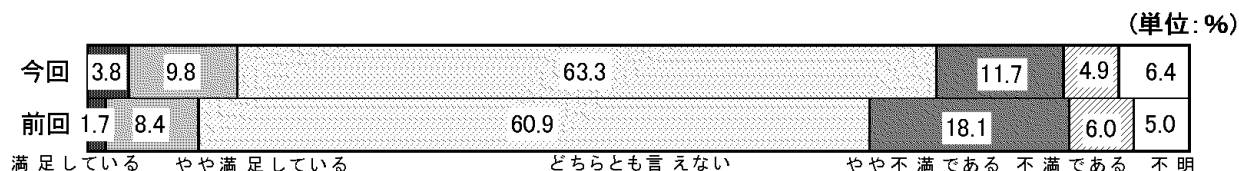
1 商業・工業の振興

商業・工業の経営基盤強化への取組みを支援します。

また、にぎわいと地域のふれあいを大切にした商業環境づくりを促進するとともに、広域幹線道路の交通利便性と職住近接のメリットを活かした工業環境づくりを促進します。

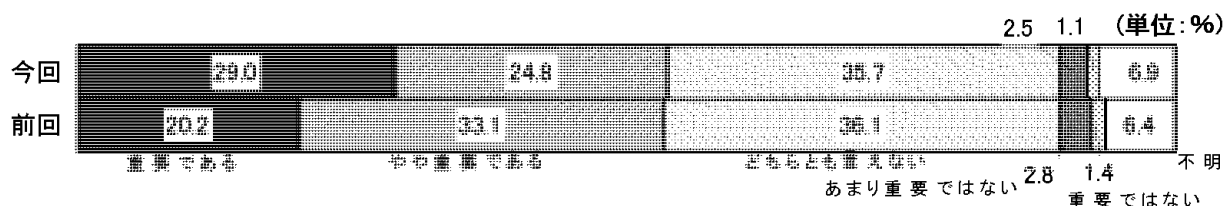
(1) 満足度・重要度調査結果

① 満足度



(前回調査からの満足度増加ポイント順位 21 / 36位)

② 重要度



(前回調査からの重要度増加ポイント順位 32 / 36位)

(2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
商店街の活性化	商店街活性化の取り組みを感じない。 大型店のみが盛況で、町内の商店街は賑わいが無い。 個人店の廃業が目立つので、商工会等の活躍を期待する。
駅周辺・町全体の活性化	地元産業を紹介したり、特産物や工業製品を常に展示販売する場所を作って欲しい。 人が住みたいというまちづくりはとても重要である。
中小企業への支援	中小、零細企業への支援は、市として出来ることは積極的に推進して欲しい。地元の企業を重視するべきである。
飲食店、スーパーの誘致	飲食店を充実させて欲しい。 スーパーが少なく買い物も不便である。
企業誘致の推進	商業・工業の成功こそが「にぎわい」や「地域のふれあい」を生む。 空店舗活用等の小さな商いではなく、近隣市からも注目を浴びる企業誘致をお願いする。

対策・支援の情報 開示	実際の活動が見えてこないのも、過去の実績・活動を公表すると良い。
----------------	----------------------------------

(3) 所見

満足度の前回調査との比較では上昇しているものの、今回調査の満足度は36項目中3番目に低い水準となっている。

「商店街の賑わいが無い」「個人店の廃業が目立つ」「スーパーが少ない」といった意見にみられるように、商店街の衰退が満足度の低さの大きな要因になっていると思われる。

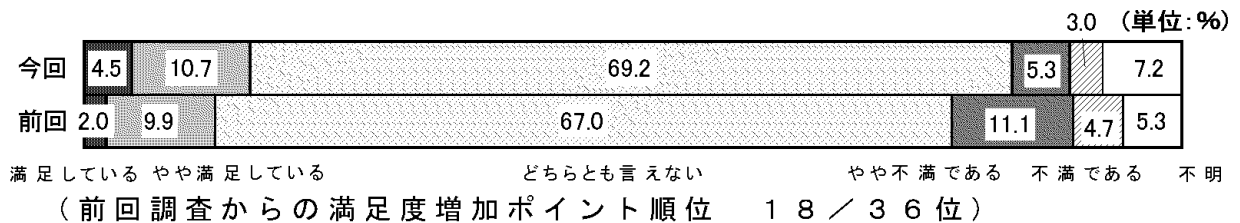
また、「商店街の活性化」「中小企業の支援」といった現行施策の推進を求める意見があるものの、他の項目に比べ重要度は低く、全項目の平均値を下回っている。

2 都市近郊農業の振興

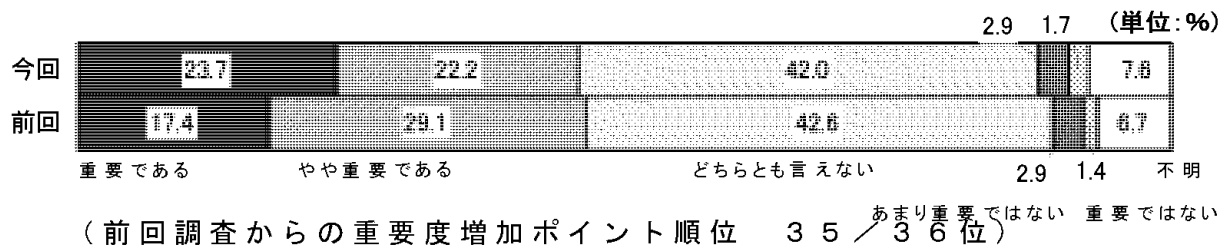
名古屋市に隣接する大都市圏内という立地特性を活かした農業の振興を図るために、農業経営の基盤強化を支援します。

(1) 満足度・重要度調査結果

① 満足度



② 重要度



(2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
農業振興への疑問点	名古屋市のベットタウン化する中で農業人口が減っている為、農業への補助や整備事業が本当に必要なのか検討する必要があると思う。
休耕地の有効活用	貸農園を増やして欲しい。 実験的に特産物を指導して作らせたらどうか。
用排水路整備の推進	用水路・排水路整備をもっと早急に進めて欲しい。
農業振興補助の充実	農業もまちの特色の一つなので、振興策を考えて欲しい。 農業は大切であると思うから、農家に対して助成等を行って欲しい。
食料自給率の向上	地産地消は、自給率上昇にもつながり大切である。

(3) 所見

満足度・重要度ともに前回調査よりポイントは上昇したものの、満足度については36項目の中で6番目に低く、重要度についても36項目の中で3番目に

低い水準となった。

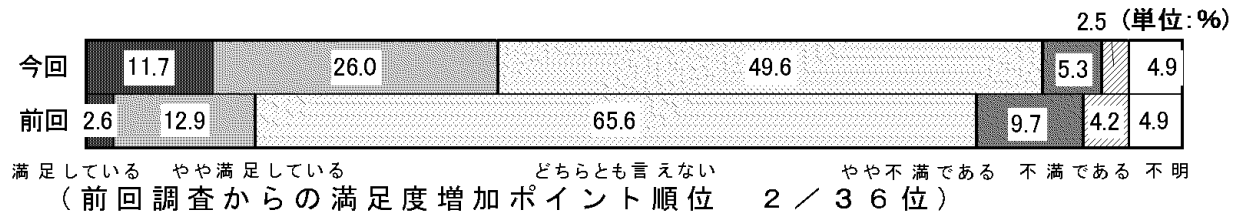
「農業人口が減っている」「農業振興の成果が出ていない」という施策の効果を疑問視する意見に加え、「名古屋市のリットタウンにおいて、農業に対する補助・整備が必要か」といった、施策の推進自体を疑問視する意見も寄せられており、賛否両論の回答理由が満足度・重要度ともに低い水準に留まった要因と考えられる。

3 観光の振興

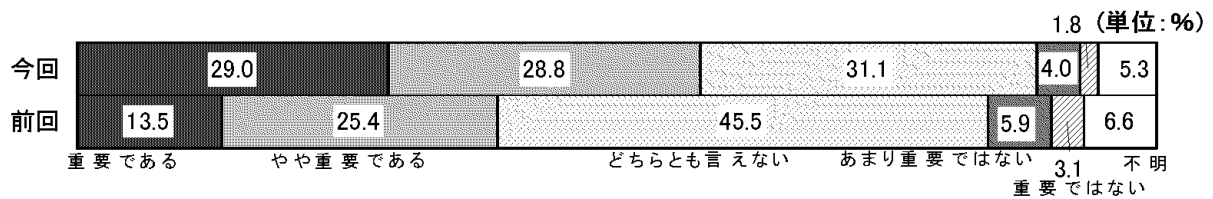
美濃街道や清洲城、山車・記念物などの歴史的資源を活用し、市内外からの交流の機会の提供に努めます。

(1) 満足度・重要度調査結果

① 満足度



② 重要度



(2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
観光事業の推進	清洲城などの観光資源をもっとアピールし、若い人達の意見を聞いてもらえる機会を設けて欲しい。 観光客が多くなれば、財政面も潤うと思うので、更に増えるようにPRに努めていただきたい。
観光事業の改善	人を呼べるほどの魅力がないので、歴史を活かしたまちづくりを行い、積極的なPRをして欲しい。
観光事業に対する疑問点	美濃路にある中途半端な古い民家の修復はとても疑問で、観光PRができる街ではないと思う。 他の重要なことに、お金を使って欲しい。

(3) 所見

満足度の前回調査との比較では、ポイントは大幅に上昇しており、今回調査した36項目の平均をかなり上回る水準となっている。

重要度も満足度と同様に、ポイントが大幅に上昇しているが、今回調査した36項目の平均よりもかなり低い水準にとどまっている。

清須越四百年事業を通して、清洲城のリニューアルや観光に対する関心が高

まりつつあるものと思われる。

一方、「人を呼べるほどの魅力がない」「観光をPRできる街ではない」といった観光振興に否定的な意見もあり、重要度の水準を満足度ほど上げていない要因と考えられる。

施策指針 6 参加と交流のまちづくり(行政への市民参加の推進)

清須市は旧 3 町の合併によって、様々な地域社会を内包したまちとなっています。この新しいまちの一体感を醸成し、諸課題に柔軟に対応できるよう、市民と行政の新たな関係を確立することが求められています。

このため、市は行財政情報の公開を積極的に推進し、市民と行政が情報を共有して今後のまちづくりに協力して取り組むことのできる条件を整えるほか、まちづくりにおける市民参加や市民との交流・連携を推進し、自らの地域を自ら守り育て、多様な地域社会を相互に尊重する機運の醸成を図る必要があります。

また、電子自治体の推進は、市民サービスのより一層の向上と行政内部における事務の効率化を実現する手段として、市民参加や市民との交流・連携を促進する観点からも、積極的な取組みが求められます。

このような認識のもとで、下記の施策を推進します。これにより、市民と行政が一体となってまちづくりを担う協働型社会の実現に向けて「参加と交流のまちづくり」を推進します。

○ 施策指針 6 に基づく主要施策

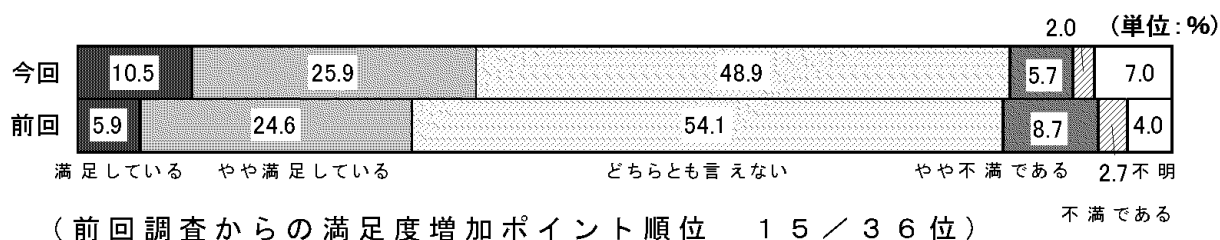
- 1 市民参加の推進
- 2 電子自治体の推進

1 市民参加の推進

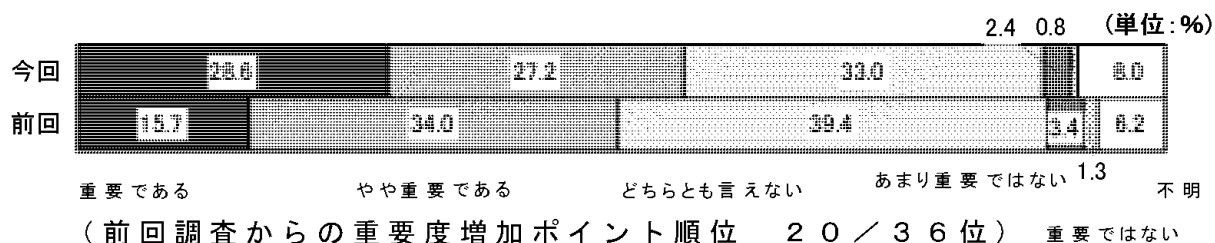
行政が施策を検討し計画を策定する際には、市民の意見を取り入れることを原則として市民参加の機会を確保するように努めるとともに、施策の進捗や成果に関する情報提供を行い、市民と連携してまちづくりを進めるよう努めます。また、市民の意向要望を施策に的確に反映できるよう、広聴機能の充実を図り、市民と行政の双方向の情報交換を行うよう努めます。

(1) 満足度・重要度調査結果

① 満足度



② 重要度



(2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
情報提供の手段、内容の改善	合併してから広報が読みづらくなった。 情報量が増えたため、取捨選択は大変であるが、読みやすい紙面にして欲しい。TV、ラジオなどのメディアを活用して、もっと情報を発信して欲しい。
HPの充実、改善	広報誌は、載せる情報に限界があるので、ホームページを充実させて情報発信して欲しい。
広報、HPに満足	広報などを通して色々な情報を得ることが出来るため、続けて欲しい。
市民参加の推進	地域密着型で、きちんと意見を受け入れて欲しい。
市民と行政の意見交換	市民の意見をどこに言えばよいか分からないので、行政との懇談の機会を設けて欲しい。

(3) 所見

満足度については、今回調査した 36 項目の平均をかなり上回る水準となっている。重要度については、前回調査より上昇しているものの、今回調査した 36 項目の平均を下回る低い水準となっている。

回答理由では広報誌やホームページによる情報発信に関する内容が大半を占め「広報から様々な情報を得られる」という意見など、各種媒体を通じた広報の充実が満足度の高さにつながっていると思われる。

「行政との懇談の機会を設けて欲しい」「市民参加が街の活性化につながる」といった、市民参加の機会の確保や広聴の充実を求める意見も寄せられている。

2 電子自治体の推進

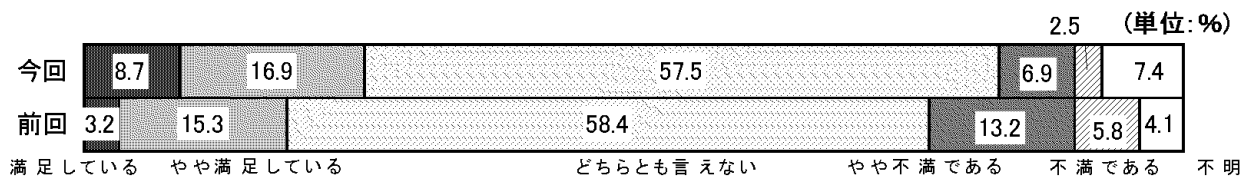
市民サービスの向上と事務の効率化を図るため、個人情報保護の観点からセキュリティ対策に配慮しながら、電子自治体の構築を進めます。また、すべての市民がITの利便性を享受できるよう、地域情報化を推進します。

《主な事業》

- 総合行政ネットワーク事業
- 高度情報化推進事業

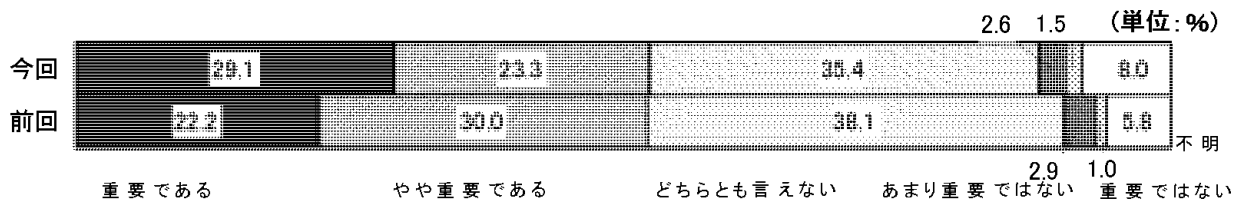
(1) 満足度・重要度調査結果

① 満足度



(前回調査からの満足度増加ポイント順位 8 / 36位)

② 重要度



(前回調査からの重要度増加ポイント順位 34 / 36位)

(2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
情報システム化への疑問	高齢者は不慣れであり、完全に電子化する前にしっかりとした説明が必要。 個人情報の保護に留意してもらいたい。
情報システム化の推進	住民票などの証明書は、休日や夜間でも発行できるようにして、最終目的の人員削減につなげて欲しい。

(3) 所見

満足度は今回調査した36項目の平均に近い水準となっている。重要度は、36項目中3番目に低い上昇幅に留まり、36項目の平均を下回る水準となっている。

市役所業務の情報システム化により、事務の効率化やコスト削減の効果を期待した肯定的な意見が多数みられ、満足度の上昇につながったものと思われる。

一方、近年の官公庁や企業による情報漏えい事例の増加を背景とした個人情報保護への不安を訴える意見も多数寄せられている。

また、高齢者を中心に、過度の情報システム化の推進により、市民間に情報格差ができることを危惧する意見も寄せられている。

施策指針 7 新しい時代に対応できるまちづくり (持続性のある行政運営の推進)

清須市は合併に伴う行政体制の再編を進めていますが、組織規模が同規模の都市と同じ水準となり執行体制が安定的になるには、より一層の努力が欠かせません。それは行政内部の運営体制の問題であるとともに、旧3町から引き継いだ公共的施設をどのように維持管理・運営していくかといった課題も含まれています。

清須市は愛知県内の同規模の都市と比較しても公共的施設の数が多く、効率性の面で課題が大きいと言わざるを得ません。また、狭い市域の中に支所が存在することも、効率性の面からは課題となっています。市民サービスの質を落とさずにこれらのコストをいかに抑えるかについて、市民とともに知恵を絞る必要があります。

また、清須市の財政状況は今後急速に悪化することが予想されており、今後大きな歳出カットが求められる可能性が高い状況にあります。行政体制の整備と並んで、長期的な持続性を確立するよう、歳入・歳出の両面から財政構造を見直す更なる取組みが求められています。

○ 施策指針 7 に基づく主要施策 行政運営の合理化

行政運営の合理化

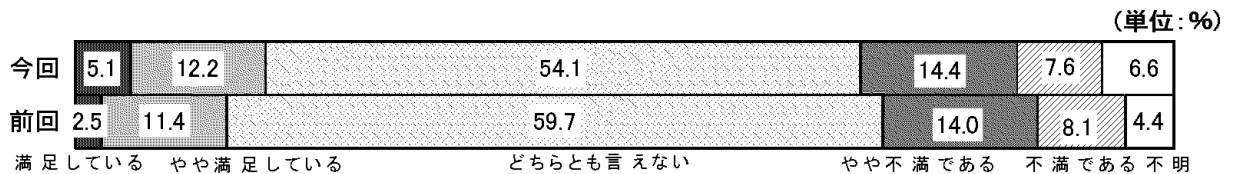
「行政改革大綱」に基づき、行政組織のスリム化と公共施設の運営のあり方見直しを進め、過度の歳出を抑制するとともに、公共料金の見直しなどを通じて歳入の適正な確保を図り、市の財政の長期的な持続性を担保します。あわせて、地方分権に対応して市の責任で行う業務が増加することを踏まえ、市職員の専門的人材の育成や組織のあり方見直しを行い、機動的な行政運営を行います。

《主な事業》

- 行政改革の推進（行政改革大綱・集中改革プラン（平成19～23年度））

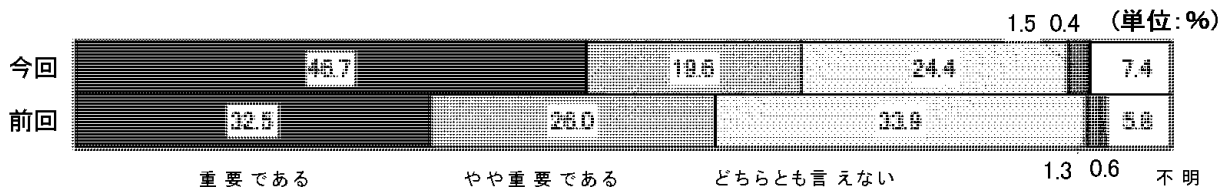
(1) 満足度・重要度調査結果

① 満足度



(前回調査からの満足度増加ポイント順位 34 / 36位)

② 重要度



(前回調査からの重要度増加ポイント順位 14 / 36位)

(2) 主な回答理由

回答理由項目	内容
職員・議員数の削減	職員・議員数の定数削減をするべき。 行政組織が全くスリムではない。
職員対応の改善	窓口の対応が遅すぎるので、できる人を配置して欲しい。 病気や事故に付随した手続きの際に、ケースワーカーのような立場の人が市役所にいてくれたら助かるし、心強い。
健全な財政運営の推進	経費意識を民間企業並みに持って欲しい。
行政運営の合理化	子どもからお年寄りまで安心安全に暮らせる市に。
本庁、支所の機能	本庁舎や清洲庁舎でなければできないことが多すぎて困る。 本庁舎に全ての機能を集約して欲しい。市民サービスセンターは現状で良い。
施策の見直し	きめ細かな施策が必要な部分と合理的な施策が必要な部分を見極めて欲しい。 地区ごとに何が必要かを十分考慮して欲しい。
行政組織のスリム化への疑問	組織のスリム化は必要だが、機能低下は困る。

(3) 所見

満足度は、今回調査した 36 項目の中で 2 番目に低い水準となっている。重要度は、ポイントが比較的高い上昇率を示し、36 項目の平均を上回る水準となっており、重点的な改善が求められている項目となっている。

「職員・議員定数の削減」、「職員対応の改善」や「民間企業並みの経営意識」を求める意見など、行政改革は不十分という意見も多く寄せられており、満足度が低く重要度が高い要因である。

特に「職員対応の改善」については前回と同様に多くの意見があり、改善が求められている項目である。